

## 令和4年度 第1回長野県長野高等学校学校評議員懇談会 記録

1. 日 時 令和4年 6月 7日 (火) 15:00～16:20

2. 会 場 長野県長野高等学校 大会議室

3. 出席者

学校評議員 6名 (五十音順)

池田 宇一氏 (長野市民病院長)、佐野 忠文氏 (上松区区长)、

竹内 里氏 (長野市PTA 連合会副会長)、中村 正行氏 (信州大学工学部教授)

藤井 純子氏 (東口メンタルクリニック臨床心理士)、

鷺澤 幸一氏 (炭平コーポレーション(株) 代表取締役)

学校職員 11名

4. 学校評議員懇談会

(1) 開会 (15:00～)

(2) 学校長挨拶・委嘱 (15:05～)

・本年度は、4月当初、新型コロナウイルス感染症による学年閉鎖があったが、現在は学校行事、学校運営等を普通に実施している。6月末には金鵒祭があり、今まさに準備をしているところである。

・高校再編について、本校の定時制をはじめとする定時制と長野西高の通信制を長野東高校にまとめて、スーパーフレックス新校として設置予定である。

・新入生より新教育課程が適用され、評価についても学力の3要素を加味した評価方法に変わる。また、単位制を導入し、様々な世界に通じる新たな科目を設定した。

・交通事故防止の対応として、新入生より自転車通学者のヘルメット着用を義務化した。

・弓道班男女団体や将棋班など複数の班でインターハイへの出場を決め、また、模擬裁判選手権においても全国大会へ出場と生徒の活躍が目覚ましい。

(3) 自己紹介 (高校職員のみ)

(4) 学校の状況について (15:15～)

① 全日制の概況：(全日制教頭)

・新入生の生徒数は281名(男子141名、女子140名)、学校全体で837名である。

・4月当初、新型コロナウイルス感染症の影響で、1学年が学年閉鎖となったが、5月より学級閉鎖等の県の基準が緩和されたことから、現在は通常の学校生活が送れている。

・本年度、全日制では生徒一人一台のタブレット端末を有し、すべての学年でオンライン授業が可能となった。また、職員もICTを駆使した授業、オンラインによる授業

等にだいぶ慣れてきている。

・NGP の活動や班活動など、本校の様々な活動に対しての取材も増えている。

## ② 進路指導係より

・本校の進路指導は1年間を通して年度当初の進路指導計画に基づいて行われている。

1、2学年では、生活・学習習慣の確立、基礎学力の定着を目指し、NGP の課題研究等を通して、大学選びや2年次での選択科目の決定に繋げていく。

3学年では、自立した学習者として学校生活のすべてに集中することを目指し、大学進学へ繋げていく。

・2022年度の大学進学率は83.2%で、過去数年で最高の実績であった。本校のみならず全国的に現役志向が高まったこと、入学時より低学力層が少ない学年であったことが要因と考えられる。また、共通テストが難化し、結果が思わしくなかった生徒も、気持ちをリセットして集中できたことも良かった。

・昨年度より大学進学率の平均倍率が0.98と全入時代になった感があるが、難関大学は大きな変化はない。本校では、推薦というよりは前期、後期と一般入試での合格を目指す指導を行っている。

・新型コロナウイルスの影響で、各大学の説明会、イベントがオンライン開催となり、受験生が実体験できず、進路選択に不安が残る。特に、医学部への進学を目指す受験生については心配である。

・高大接続改革により、各大学のアドミッション・ポリシーに基づいた入試形態の複雑化も進んでおり、自分の学びたい内容がどのように区分されているかしっかり調べる必要がある。

## ③ 生徒指導係より：(生徒指導係)

・昨年度は、自転車通学者の交通事故が多かった。本年度より新入生の自転車通学者のヘルメット着用を義務化した。4月～6月まで交通事故3件、生徒へ注意喚起を促す。

・4月に班室において現金盗難が発生し、警察が入った。班室の管理を徹底したい。

・4月～5月の間に、不審者による声掛け事案が2件発生、帰宅途中の本校から本郷駅の間で発生しており、複数人での下校等注意喚起をしている。

・心の健康相談は5月に1回実施。年間9回実施予定である。

保健室からは相談に乗ってほしいと訴える生徒が年々増加しているとのことである。今後も外部医療機関との連携やカウンセリング等により、生徒のメンタル面のケアに注意を払いたい。

④ 生徒会係より：(生徒会係)

- ・ 4月、新型コロナウイルス感染症による1学年の学年閉鎖により新入生歓迎会、歓迎音楽会は実施できなかった。応援練習は、6/13,6/14に延期となった。
- ・ 恒例の駅伝大会は、4/28につつがなく実施された。晴天にも恵まれ、生徒は清々しい表情であった。
- ・ 6月末には金鵒祭が行われる。新型コロナウイルス感染症対策として、保護者等の来校者については、午前、午後に分けのインターネット予約により来校人数を制限することを検討している。

⑤ NGP係より：(NGP係)

- ・ NGPとは、文部科学省に指定されたSGH事業の後継事業である。グローバルな視点で社会を捉える、本校の探究活動、グローバル教育の総称である。
- ・ 本校のNGPの柱は、国際交流、課題研究で、1年次の米国リーダー研修、2年次の台湾交流などがあり、コロナ禍によりオンラインで実施している。
- ・ どうしても教員主導の部分があるので、生徒間相互の学びの充実を図りたい。
- ・ 新しい取り組みとして、米国リーダー研修の代替には、立命館アジア太平洋大学(APU)とのオンライン交流や高校生会議なども計画している。

⑥ 定時制の状況について：(定時制教頭)

- ・ 本年度の新入生は12名で、全体で30名の生徒が在籍。アットホームな教育活動を展開している。
- ・ 義務教育段階で不登校を経験している生徒が多いが、卒業後の進路を考えながら、現在は頑張って、毎日登校している生徒がほとんどである。
- ・ 北信定通体育大会で、バドミントンと卓球の種目で好成績を残し、3名の生徒が県大会に出場する。

⑦ 今年度の学校評価について：(全日制・定時制教頭)

- ・ 特に8番目のSGHから続く8年間の学びの継承については、本校のNGPの取り組みにおける評価として重要視している。(全日制)
  - ・ 生徒個々に応じた支援体制づくりが極めて重要である。(定時制)
- 各議員に依頼

(5) 意見交換

評議員：長野高校における最近の新型コロナウイルス感染症の感染状況はどうか。県立高校の県大会の壮行会で複数の感染者が出ているという話も聞く。是非、気をつけて行事等実施してほしい。

学 校：5月に県から示された学級閉鎖に係る基準が変わり、本校では、このところ学級閉鎖には至っていないが、感染者ゼロというわけではない。

評議員：コロナ禍においては、先生も生徒も大変である。学習合宿などは実施できているのか。

学 校：現在のところ、宿泊を伴う形での学習合宿はできていない。

評議員：お祭り、運動会といった地区行事では、お手伝いをしている。

長野高校とは様々な場面で地域と連携を図っている。今後も是非よろしく願いしたい。

本校正門前の横断歩道で、長野高校生が自転車をすごい勢いで運転しており、事故にならないか心配している。是非、気をつけていただきたい。

評議員：保護者の立場から、子供たちの集中力という観点からオンライン学習は少し心配である。また、医師を目指す生徒たちの実体験もできない状況であるとのこと。病院等で体験できないものか。

評議員：病院などの医療現場では、コロナ対応でピリピリの状況である。

医学部を目指す生徒に現場を実際に見てもらいたいのはやまやまであるが、現在はそのような状況ではない。

評議員：SGHから続く8年間の学びについて、NGPを選択した卒業生の就職先や社会に出てからの活躍などの情報はるか。追跡調査をしているか。

学 校：現在、しっかりとした追跡調査はできていない。重要な調査だと認識している。今後、同窓会の力を借りて、学校で学んだことが、どのように生かされているかなどの調査を行いたい。

評議員：今後の探究活動の充実として理系的な視点を増やすという説明があったが、それは理系的な能力を育てるということか。理系的な職業を意識させるということか。

学 校：現状、どうしても調べ学習的な研究が多いので、データを分析して考察するなど理数的なアプローチによる探究が可能か模索するということである。

評議員：総文祭や各種のコンテストに積極的に出場するとよい。信州大学では、企業との共同研究に高校生が参加するプログラムを実施している。工業高校が参加しているが、長野高校など普通科高校も参加してほしい。

評議員：課題研究と進路希望を結びつけて、みんなと一緒に考えるという活動は素晴らしい。何のために勉強しているのか分からないまま勉強するのはむなしいことである。また、定時制の学び直し、生徒の進路が決まっていくことも素晴らしい。ただ、先生方がとても疲れている状況は心配である。

評議員：キャリア教育がいき過ぎると、キャリア教育にそくした進路選択が、逆に自分の調べた職業、学部しか選択肢に入らないような、視野を狭める結果を招いていないか、危惧している。

高校再編で、定時制と通信制が一つの高校にまとまることは、パフォーマンス的に良いと思う。

クラブ活動について、外部の指導者を委嘱して活動するという動きがあるが、現在の本校の班活動の状況はいかがか。

学 校：外部指導者については、当面、義務教育の現場で実施するという事で、高校においては、予算等の関係で、現在は外部コーチという形で指導をお願いしている班がいくつかある。

(6) 校長より御礼の言葉

(7) 閉会 (16:20)